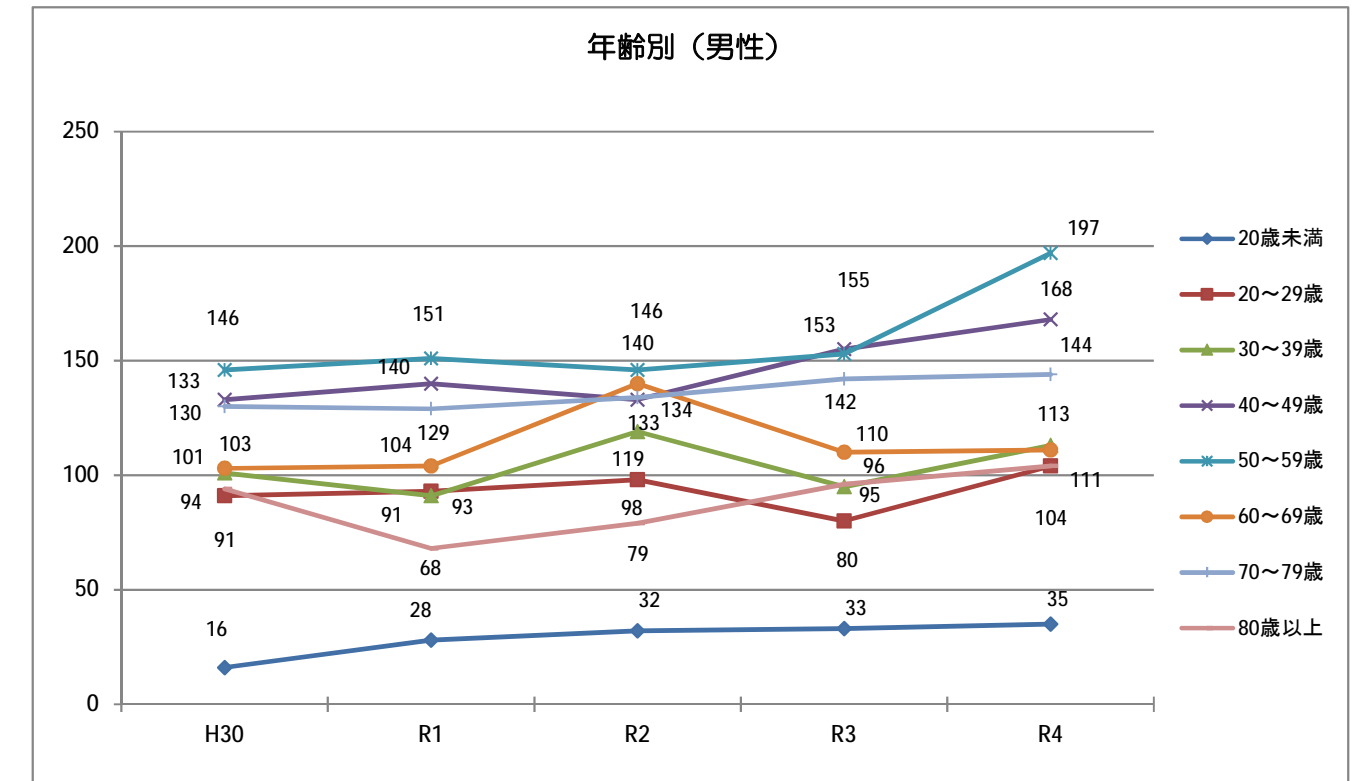
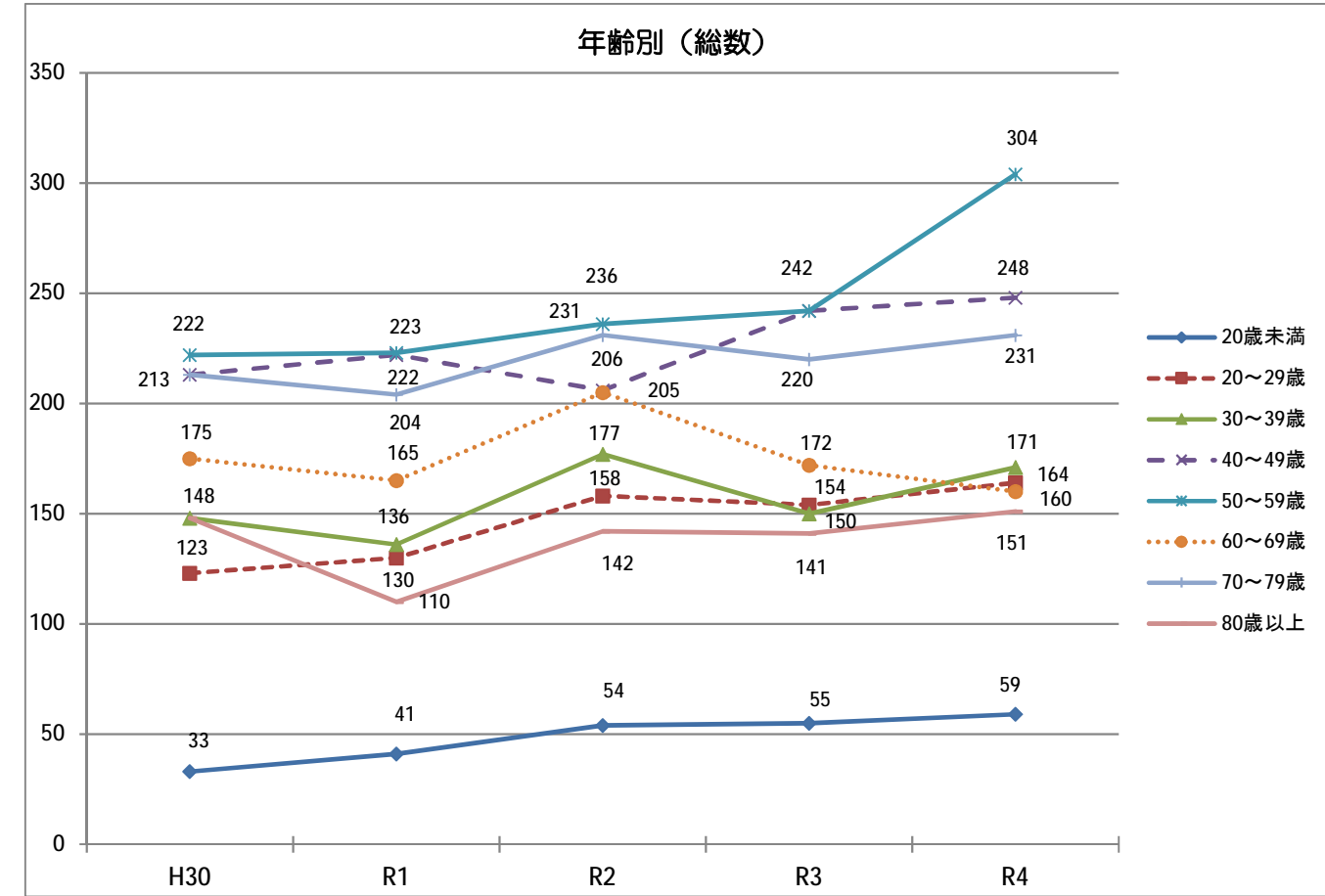
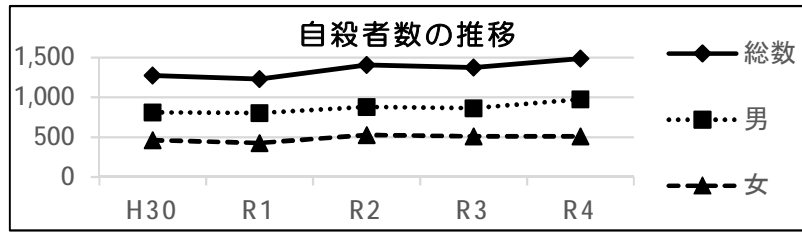


大阪府の自殺の状況(平成30年から令和4年)

	総数	男	女
H30	1,275	814	461
R1	1,231	804	427
R2	1,409	881	528
R3	1,376	864	512
R4	1,488	976	512



参考資料8

【自殺者数の傾向】

○令和4年の自殺者数は前年と比べて増加。(全国も同様)前年より**112人増の1,488人**であった。
 ○男性は**112人増加**(対前年増減率+13.0%)、女性は増減なし。
 →減少傾向が続いていたが**一昨年(R2)、11年振りに自殺者数が増加した。前年(R3)は一昨年(R2)に比べて減少したが、R4は再び増加して一昨年(R2)より多くなっている。**

【自殺者の傾向・年代別】

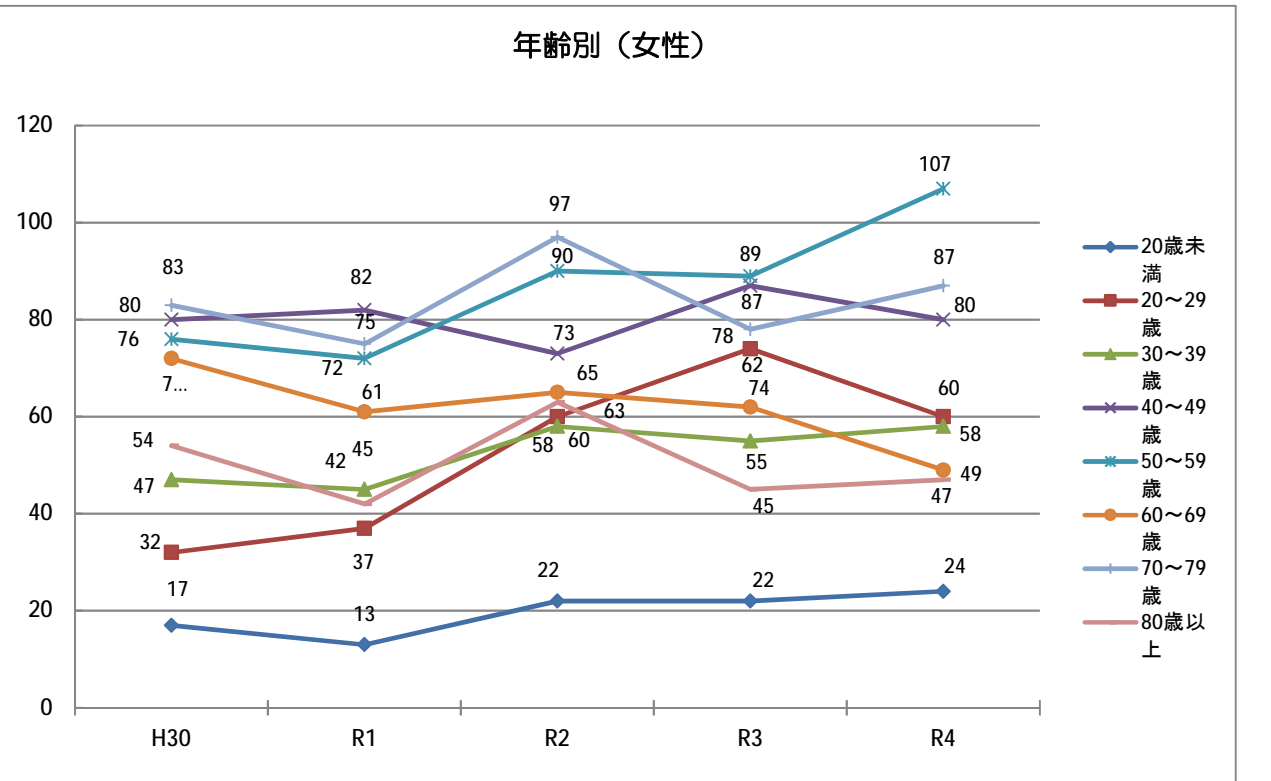
○男性は全ての年代にて増加した。特に「**20~29歳**」「**50~59歳**」は前年から大きく増加した。
 ○女性は「**20~29歳**」「**40~49歳**」「**60~69歳**」で減少、それ以外の年代では増加した。特に「**50~59歳**」は前年から大きく増加した。
 →**男性の20代、50代が大きく増加した。39歳以下の自殺者が全体の4分の1を占めている。**

【自殺者の傾向・職業別】

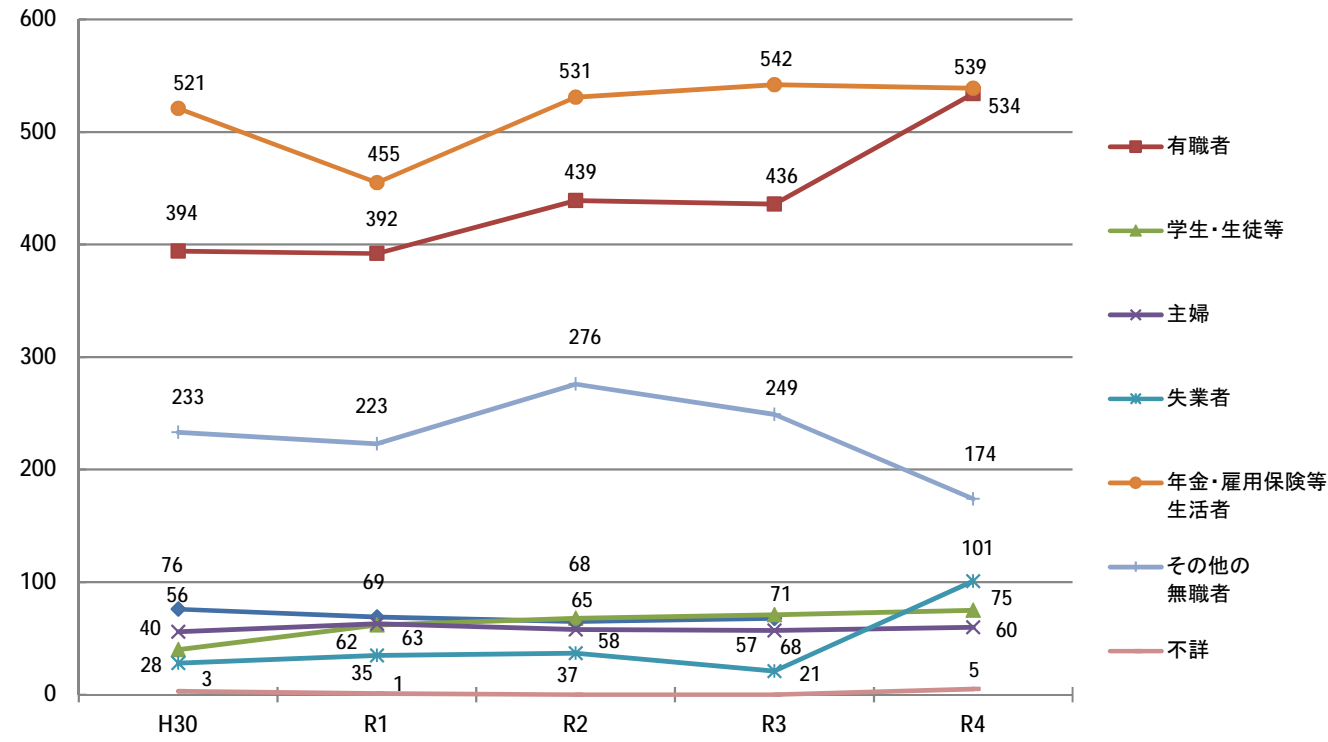
○令和4年1月から集計方法が変わり「**自営業・家族従業者**」と「**被雇用者・勤め人**」を合わせて、新たに「**有職者**」という項目ができた。
 ○男性の最多は「**有職者**」(407人)「**年金・雇用保険等生活者**」(332人)、女性は「**年金・雇用保険等生活者**」(207人)、「**有職者**」(127人)の順に多くなっている。
 また、男女合わせた「**失業者**」(101人)が前年(21人)より大きく増加している。
 →**失業者が大きく増加した。有職者も前年より98人(22.5%)増加した。**
 ○「**学生・生徒等**」については男性が前年より**4人(9.5%)**増加した。**R30からR1で倍増**した後、高止まり状況。女性は**R1からR2で倍増**、同じく高止まり状況が続いている。

【自殺者の傾向・原因・動機】

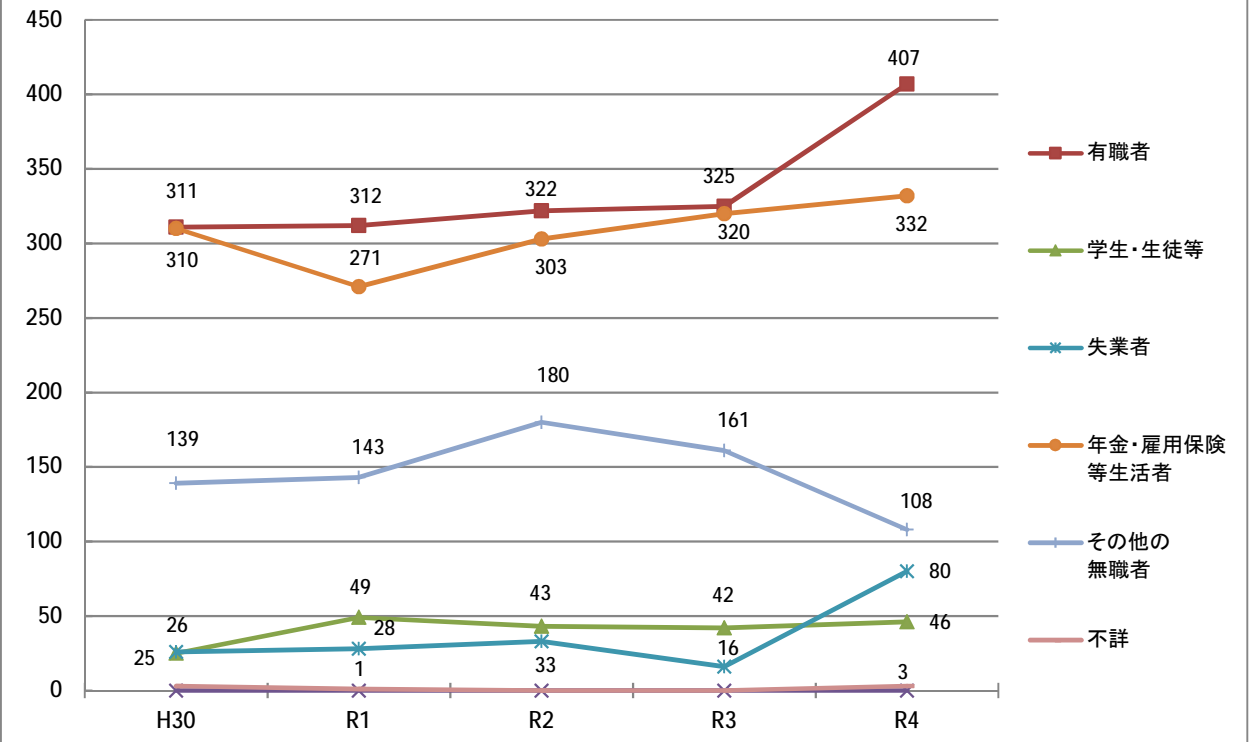
○健康問題が最も多く、次いで**経済・生活問題、家庭問題**の順となっている。



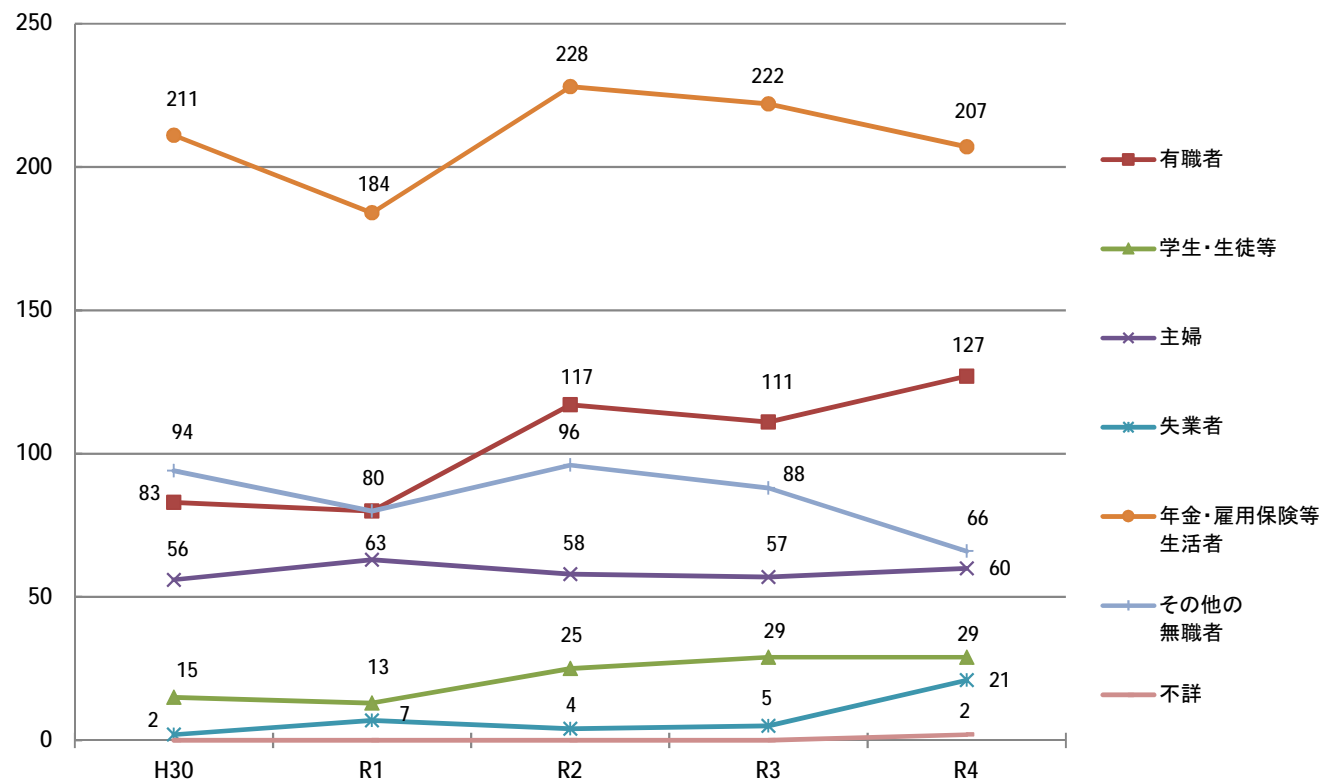
職業別（総数）



職業別（男性）



職業別（女性）



原因動機別（総数）

